



2019年6月 MSCニュースレター

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

目次



マーケット情報

- ・イオン(株) 「トップバリュ Fish Deli おさかな惣菜シリーズ」新商品の販売開始 P. 4
- ・国内銀行初！横浜銀行本店内食堂で、MSC認証水産物の導入決定 P. 5
- ・マリタイム(株)が国連公式レセプションにてMSC認証水産物を提供 P. 6

漁業情報

- ・ドイツのカラスガレイ漁業がMSC認証を取得 P. 8
- ・北西大西洋のアブラツノザメ漁業にウィンタースケートを追加 P. 9
- ・ロシアのタイセイヨウマダラとハドック漁業がMSC認証取得 P. 10
- ・MSC漁業認証ガイドが新しくなりました！ P. 11

その他

- ・MSC環境インパクト報告書2019を発表 P. 13
- ・世界海洋デーにイケア2店舗でMSCクイズイベントを同時開催 P. 14
- ・MSC認証取得状況 P. 15

マーケット情報



イオン(株)「トップバリュ Fish Deli おさかな惣菜シリーズ」新商品の販売開始



2019年6月

イオン株式会社(以下イオン)が、「つなぐ」、「旬」、「ひと手間」の“3つのおいしさ”をテーマに企画・開発し、昨年発売した「トップバリュ Fish Deli おさかな惣菜シリーズ」に、6月から新商品が加わりました。

新たに販売開始されたのは、ノルウェーのタイセイヨウサバを使用した「MSC認証 骨取りさばのハーブトマト」で、酸味の効いたさっぱりとした風味で、夏にぴったりのおさかな惣菜です。

また「MSC認証 骨取りさばのハーブトマト」は、季節性だけでなく、昨秋発売された「MSC認証 骨取りさばのハーブレモン」に続き、魚の消費量が少ない世代や市場のニーズを取り入れた、洋風の味付けに仕上がっています。

イオンはこれら新商品に加え、同シリーズ既存の「MSC認証 骨取りさばの蒲焼」もうなぎの蒲焼きに代わる製品として、夏に向けて販売を強化する予定です。

同社は、2020年までに連結対象の総合スーパー、スーパーマーケット企業で販売する水産物の20%をMSC及びASCラベル付き製品にすることを目指し、ラベル付き製品を拡大しています。

イオングループのニュースリリース(2018年10月): https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2018/10/181016R_1.pdf
トップバリュ-MSC認証製品一覧: <https://www.topvalu.net/search/item?word=MSC>



MSC認証 骨取りさばのハーブトマト



MSC認証 骨取りさばのハーブレモン



MSC認証 骨取りさばの蒲焼

国内銀行初！横浜銀行本店内食堂で、MSC認証水産物の導入決定



2019年6月7日

コンコルディア・フィナンシャルグループが、同社グループのSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みの一環として、6月8日の「世界海洋デー」にあわせて、横浜銀行本店内の社員食堂でMSC認証の水産物を提供することを決定しました。MSC認証のサステナブル・シーフードを社員食堂で導入するのは、国内の銀行としては初めてのケースとなります。

提供拠点は、横浜銀行本店内の社員食堂のうち2カ所で、今年の8月より毎月1回ほどの提供を予定しています。

同社は、横浜銀行本店内の社員食堂の運営委託会社である株式会社グリーンハウス(東京都新宿区)と協働してMSC認証などのサステナブル・シーフードを使ったメニューの開発やこれら認証水産物を行内で周知するイベントを開催するなどし、「食」を通じて、社員一人ひとりに意識・行動の変化を促すとともに、SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」の達成へ貢献することを目指すと発表しています。



コンコルディア・フィナンシャルグループのSDGsの取り組み



今後、提供予定の横浜銀行本店内の社員食堂の様子



横浜銀行本店ビル

マリタイム(株)が国連公式レセプションにてMSC認証水産物を提供



2019年6月8日

6月8日は国連が定める「世界海洋デー」ですが、通常は国連本部で行われる世界海洋デーの公式レセプションが、今年はニューヨークに寄港中のピースボート『オーシャンドリーム号』の船上で行われました。

ピースボート『オーシャンドリーム号』は、今年CoC認証を取得したマリタイム株式会社(以下マリタイム)により船内のレストラン運営がなされており、世界海洋デーのレセプション当日は、メニューにMSC「海のエコラベル」が表示され、国連から招待された出席者に北海道産のMSC認証ホタテガイを使用した料理が提供されました。

世界中をめぐるクルーズ客船のレストランでMSC認証の水産物が提供されたのは、これが世界で初めてのケースとなります。

マリタイムは、今後もピースボート『オーシャンドリーム号』の日本・世界の航行で、世界中からの乗客にMSCなどの持続可能な認証水産物を提供していく予定です。

マリタイム株式会社ホームページ: <http://www.maritimeltd.com/index.html>

UN World Oceans Dayのイベントについて:

<https://unworldoceansday.org/event/world-oceans-day-onboard-peace-boat-june-8>



ピースボート『オーシャンドリーム号』



レセプションで提供された
MSC認証ホタテガイを使用したメニュー

漁業情報



ドイツのカラスガレイ漁業がMSC認証を取得



2019年6月4日

ドイツの遠洋漁業Doggerbank Seefischerei社が行う、グリーンランド西部のカラスガレイ漁業がMSC認証を取得しました。この認証取得によって、EUでカラスガレイを漁獲している全ての漁業がMSC認証の漁業となりました。

漁法は底曳き網(オッタートロール)で、漁具には海底との接触や混獲を減らす工夫が施されています。

審査は独立した第三者審査機関のControl Union Pesca社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、それらの管理システムが検証され、この漁業が持続可能であることが証明されました。

Doggerbank Seefischerei社はニシン漁でもMSC認証を取得しており、同社の総漁獲量の85%にMSC認証「海のエコラベル」が表示されています。

詳しくは、プレスリリースおよび、MSC認証漁業の情報検索サイトをご覧ください。

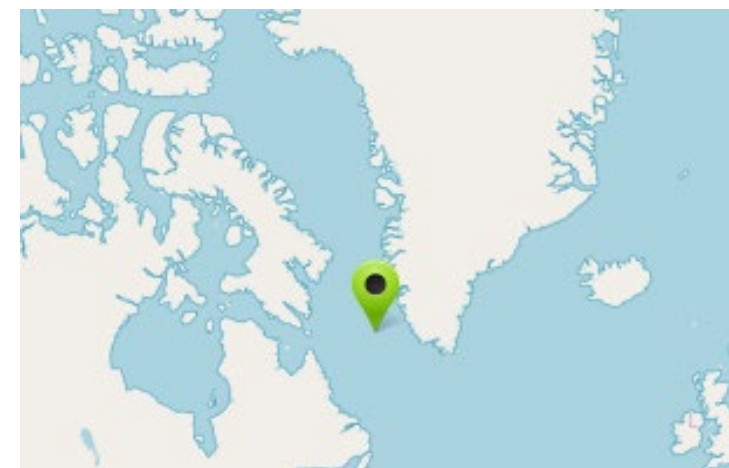
[EUのカラスガレイの100%がMSC認証に](#)

[MSC Track a Fishery](#) (英語)



提供: NOAA Fishery

カラスガレイ: Greenland Halibut
(学名: *Reinhardtius hippoglossoides*)



対象漁業の海域

北西大西洋のアブラツノザメ漁業にウィンタースケートを追加



2019年6月4日

2012年にMSC認証を取得した、アメリカのアブラツノザメ漁業に、新たにウィンタースケート(ガンギエイの仲間)が認証に追加されました。

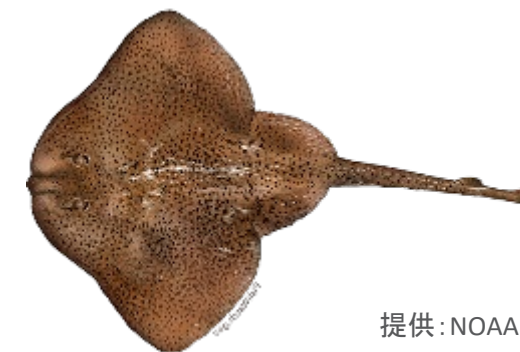
この漁業の漁法ははえ縄、刺し網、底曳き網で、北西大西洋で操業しており、漁獲量は11,480トン(2016)です。

この度、独立した第三者審査機関のMRAG Americas社によって認証範囲を拡大するための審査が行われ、ウィンタースケートも追加されることになりました。

ただし、今後の状況を見据え、3年以内に満たさなければならない条件も提示されました。それらの条件には漁獲方策を裏付けるための対象種の資源データの提出や、この漁業による海洋哺乳類への影響調査および管理の向上も含まれています。

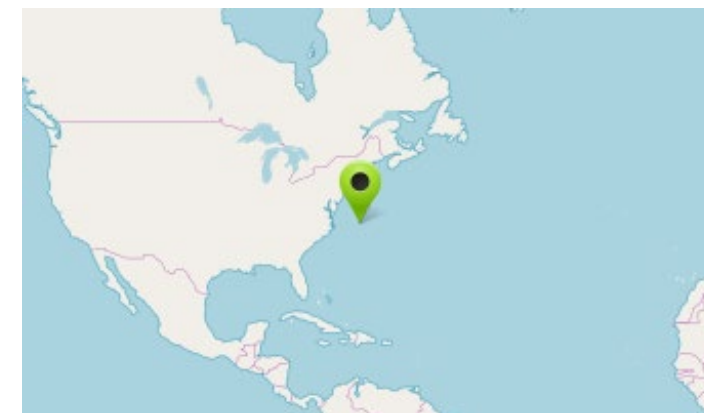
詳しくは、MSC認証漁業の情報検索サイトをご覧ください。

[MSC Track a Fishery](#) (英語)



提供: NOAA Fishery

ウィンタースケート: Winter Skate
(学名: *Leucoraja ocellata*)



対象漁業の海域

ロシアのタイセイヨウマダラとハドック漁業がMSC認証取得

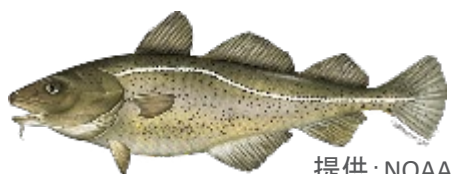


2019年6月12日

北大西洋バレンツ海で操業するロシアのタイセイヨウマダラとハドック漁業が新たにMSC認証を取得しました。

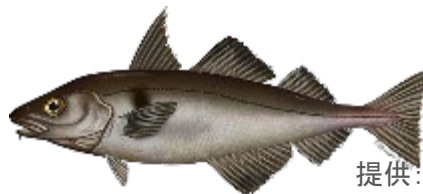
この漁業の主なマーケットはEUで、漁獲量は1408.41トン (2016)です。

審査は独立した第三者審査機関のDNV GL 社により行われ、これら2魚種を漁獲する漁業について資源状態、漁業による環境への影響、それらの管理システムが検証された結果、この漁業が持続可能であることが証明されました。



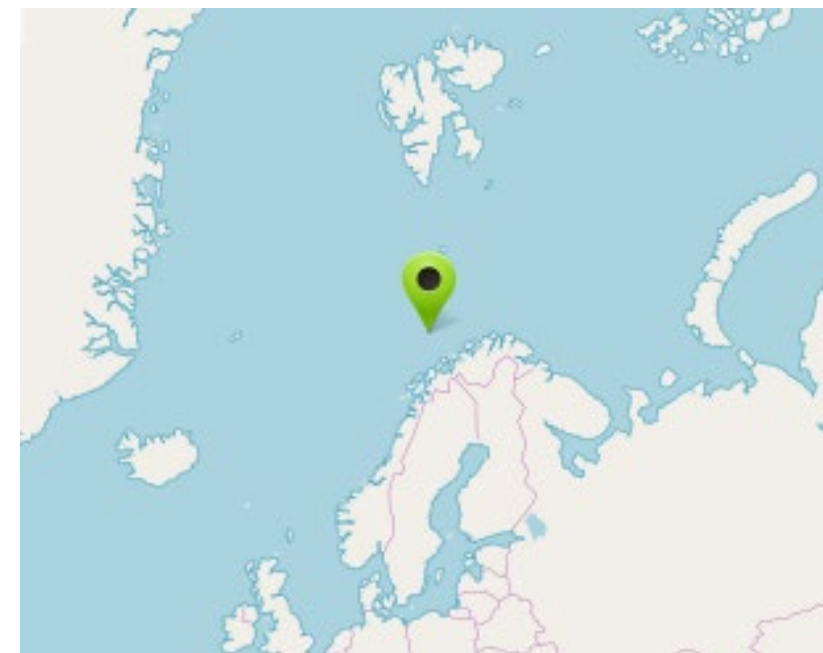
提供: NOAA Fishery

タイセイヨウマダラ: Atlantic cod
(*Gadus morhua*)



提供: NOAA Fishery

ハドック: Haddock
(*Melanogrammus aeglefinus*)



対象漁業の海域

詳しくは、MSC認証漁業の情報検索サイトをご覧ください。 [MSC Track a Fishery](#) (英語)

MSC漁業認証ガイドが新しくなりました！



2019年6月28日

今年2月28日よりMSC漁業認証規格v2.1が発効しました。

それに伴い、漁業認証取得を目指す漁業者に向けた「MSC漁業認証プロセスの手引き」を更新しました。

審査時にご用意いただく情報や、審査の流れ、協力を要請する関係者など、認証取得を検討する際に確認すべき情報が簡潔にまとまっています。

審査のプロセスが一目でわかるチェックリストもご用意しておりますので、ダウンロードのうえ、ご活用ください。

こちらのガイドを通じてMSC漁業認証の概要を知ることができますので、漁業関係の方だけでなく、MSC認証にご関心をお持ちの皆様にも幅広くご覧いただける内容となっております。ぜひご一読ください。

本文は下記のURLからご覧いただくか、[MSCウェブサイト](https://www.msc.org/jp)からダウンロードのうえご使用ください。

●MSC認証ガイド <https://00m.in/VbPDn>

※このガイドはPDF版のみでの配信となり、冊子は発行しておりませんので予めご了承ください。



その他

MSC環境インパクト報告書2019を公表



環境負荷の軽減のために漁業がとった行動



65の研究活動



24の技術改善



54の海洋インパクト評価



6月7日

世界海洋デーの6月8日に先駆けた6月7日(金)に、MSCは2019年度版の「環境インパクト報告書」をグローバルで発表しました。

この報告書は、MSC認証漁業が生態系へのインパクトを最小限にする取り組みの過程で、海洋環境にどのような影響を与えているかについてデータ分析し、視覚情報化してまとめた資料です。

漁業がMSC認証取得のために審査を受ける際、審査項目のうち合格点(100点満点中80点)に満たずとも及第点(60点)に達している項目については、合格点までの改善を「条件」として認証が与えられます。およそ9割の漁業が最低ひとつの条件を課されています。この条件により、漁業は漁獲活動による生態系へのインパクトを最小限にとどめるよう改善を進め、こうした取り組みが海洋環境にとってプラスの影響をもたらすことにつながります。

MSC環境インパクト報告書2019では、改善の実例や、以下のようなデータが記されています。

- 2000年から、MSC認証漁業は900近くの認証取得における「条件」を、国際的に優良事例とされるレベルにまで改善している
- これにより、漁業の持続可能性の向上が確認された事例は1,600件以上に達した

MSC環境インパクト報告書2019の要旨は、MSCウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.msc.org/jp/what-we-are-doing/collectiveimpactJP/fisheryimprovementsJP>

世界海洋デーにイケア2店舗でMSCクイズイベントを同時開催



6月8日

MSCは、6月8日(土)の世界海洋デーに、イケアストア2店舗でクイズイベントを開催しました。

2017年秋より始まったイケアとのコラボイベントで、今回は、[IKEA Tokyo Bay](#)と[IKEA 神戸](#)で初の同時開催となりました。またIKEA神戸は、首都圏以外のイケアストアでは初のMSCイベントとなります。

IKEA Tokyo-Bayでは、ミス・アース・ジャパン2018年度東京代表の守田知代さんにクイズを進行していただき、約120組の親子連れの方が参加しました。

IKEA神戸では、[京都女子大学 生活デザイン研究所](#)の学生4名に協力していただき、約360人のお客様が集まる大盛況となりました。

また会場では、イケアのスウェーデンフードマーケットで販売されているMSC認証のフィッシュナゲットが、試食で提供されました。

6月22日(土)・23日(日)には[IKEA立川](#)でも同様のイベントを開催し、そちらも盛況となりました。

詳しくは、MSC日本事務所ブログをご覧ください。

[\[レポート\]IKEA Tokyo-Bayでキッズ向け「MSCクイズイベント」が開催されました](#)

[世界海洋デーに、IKEAでクイズイベントを開催しました!【神戸編】](#)



IKEA Tokyo-Bayでのイベントの様子



IKEA立川でのイベントの様子



IKEA神戸でのイベントの様子

【MSC認証】(2019年6月28日時点)

□漁業認証取得漁業数:

世界・・・373件 / 日本国内・・・6件

□漁業認証審査中漁業

世界・・・137件 / 日本国内・・・2件

□CoC認証取得事業者数

世界・・・4,717件 / 日本国内・・・237件

□MSCエコラベル付き製品数:

世界・・・38,000品目以上 / 日本国内・・・770品目



@Philip van Ierschoot



ありがとうございました

このニュースレターに関する問い合わせ先

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

Tel: 03-5623-2845

Email: MSCJapan@msc.org

<https://www.msc.org/jp>

www.msc.org